

デンマーク旅行 2018年7月5日（木）～7月15日（日）

海外旅行はお金も掛かるし体力もいるから、しばらくはオリエンの国内遠征に集中して参加しようとしてヨココが決めた。2013年以来5年振りにデンマークに行くこととなった。オリエンと観光は体力的に両立しないとヨココは言う。オリエンが上手くなってから海外へ行くと思っていたが、技術の向上よりも体力低下のスピードが早い。周囲の人から呼びかけられたこともあり、コペンハーゲンなら観光が終わっているからオリエンに専念できることからWMOC (World Master's Orienteering Championships) に参加することとした。

例年日本旅行K氏が募集しているWMOC専用ツアーがあるが、なかなか募集要項が発表されない。年末にIOFのWEBを見ると早割申し込みの初回締め切りが1月6日に迫っていた。次回割引申し込み期限は3月28日、慌てて申し込んだが慣れない英語のページで勝手から結局4時間くらいかかる羽目になった。入会は無料だが最初にまずIOFにアカウント登録しなければならない。IOFは英語のページだからまだ何とか分かる。所属クラブを入れる段階でプルダウンメニューにES KANTO CLUBがすでに登録されており驚いた。

入会出来たら大会名を選び参加レースを選ぶ。スプリント、ミドル、ロングのフルセットで130ユーロでかなり安くなる。支払いの段階でクレジットカードを選んだらPayPalしかダメで、今度はPayPalのアカウント取得とクレジット情報の登録が必要となった。暫らくの間、正常にエントリーと送金が出来たかどうか不安だったが、数日後にWMOCとPayPalの両方からメールが届いた。

3月になってバスチケットの申込みメ切的案内が来て慌ててチケットを申し込んだ。困ったことに今後はコペンハーゲンのデンマークOL協会のWEBから申し込む必要があり、デンマーク語で書かれていた。概要部分には英語版のリンクもあるけど申し込みページの決済画面になるとデンマーク語のみ。iPadで日本語に翻訳しながら進む。すると今度はPayPalが使えない。VISAカードはOKだった。

日本旅行のツアーは結局ホテルと航空券の手配しかなくオリエンの案内はしてくれないことが分かった。バス券は往復かどうか分からずヨココと二人でそれぞれ2枚分を買った。前置きが長くなったが、自分で事前の準備が必要な旅行であった。その後、バス券が往復券で1人分余分であることが判明したけど、払い戻しのやり方が分からず、K氏に相談しグループ内で調整してくれることになった。

7月5日（木）（第1日目）

今回も武蔵野線東松戸経由、成田スカイアクセス特急にて成田へ。空港第2ターミナルピ

ル駅に8時35分頃到着。第2ターミナルではサテライトへ行くのに短いシャトルがあったが、とうの昔に廃止され（2013年9月）長い動く歩道に変わっていた。ヨーコがデンマーククローネに両替、1DKKは約20円、USDは113円くらいだ。荷物はヨーコがキャスターバッグ2個で、ヒロシはバックパック1個。



FINエア—AY074便11:00発で

経由地のヘルシンキへ。

ヘルシンキ着15:00、名古屋からの6名と合流して、16:35発のAY957にてコペンハーゲン空港に到着。コペンハーゲン着17:15、THE SQUARE HOTEL COPENHAGENに投宿。以後ここに9泊する。西陽の当たる部屋で日没はほぼ夜10時、緯度が高く明るすぎ。夕食に迷ったので簡単にマクドナルドへ。ここが変わっていて注文はでかいタッチパネルで入力。天井にぶら下がったコンベアで商品が輸送されてくる。思わず病院の検体輸送システムを思い出した。ハンバーガーは高級食なのか？高い！

7月6日（金）（第2日目）

毎日同じFarumの大会会場に通うことになるので、駅の券売機で7日券をカードで買おうとしたがうまく行かず、結局駅のセブンイレブンで7日券を購入した。大会会場は国電A線の終点Farum駅、最寄駅のVesterport駅からは約40分の郊外。ここでまずゼッケンやモデルイベントの地図、バス券をもらう。まずは計時なしのスプリントのモデルイベント。移動の疲れはあったが落ち着いて走って、気持ち良かった。今日は開会式とバンケットがあるが当然参加せず。帰りに近くのショッピングセンターに寄ったがバナナ以外に買うものなし。お昼はFarum駅のピザ屋、1枚注文して2人で食べた。でかい。

この日しか時間と体力に余裕がないのでコペンハーゲンに戻ると、そのままティコ・ブラーエ・プラネタリウムに行った。



Vesterport駅の近くでラッキー。ただし、すぐに見られる番組はデンマーク語の幼児向

けアニメ「FLY Me to the Moon」のみ。（1時間後の上映だと大人向けで英語版あり。）このアニメは3Dメガネを掛けて見るアポロ11号の月面着陸で大変面白かった。ただし、1人160DKK(3200円)でむちゃ高い。でも映画館と思えばそんなものか。言葉はデンマーク語だけどアニメなので内容は十分理解できた。建物は大きく中央には200席以上の全天周ドームがある模様（見ていない）。

その周りが宇宙に関する教育展示物。

ミュージアムショップで記念に彗星の小冊子を購入。



7月7日（土）（第3日目）

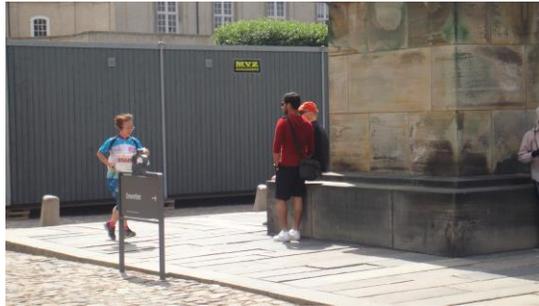
コペンハーゲン北方のHorsholmのサイエンスパークでのスプリント予選。小さな公園に大勢の人が、テントも多数。国際大会の雰囲気をもっと感じることができた。スタート地区が4カ所に別れており、二人のスタートは別の場所。中盤でミスをして取り返そうと焦り結果はペナ1のDISQ。海外デビューの初戦はペナから始まった。事前に調査した地図とルート研究は何も役立たなかった。小さな町だけど近くに小さなスーパーがあり向かいには寿司バーもあった。寿司バーは閉まっていたが、こんな所でネタが入るのかと思った。



7月8日（日）（第4日目）

コペンハーゲンの観光地クリスチャンボー城で行われるスプリント決勝。日本では絶対に許可されない。昨日のペナで最下位クラスM70Eに転落しての参戦。狭い石畳の広場に4000人以上の人が集まるのだから、それだけでも超満員。我々のホテルから歩いて10分くらいの近さ。ここへは前にも来たことがある。レースは1つミスったが慎重に回ってまず

まずの記録。国会議事堂のタワーは無料で登れるがエレベーターが1つしかなく時間待ちが必要で登らず。先にゴールしたのでヨーコのゴール姿を写そうとクリスチャン9世の騎馬像の前でカメラを構えていたが、ヨーコはポストを素通りし通過、シャッターチャンス逃す。



7月9日（月）（第5日目）

フォレストのモデルイベントがコペンハーゲンのある島（シェラン島）の北海岸tisvildeで開催される。続いてミドルの予選と決勝会場となる。例によってFarum駅からの大会バスに乗車。高速道路（自動車専用道路で制限110km）を北上、途中から国道32号線、海水浴場の駐車場で下車。海岸近くの村は道路が狭く路上駐車も多い。

イベント会場と行っても森の中にテントが一つだけ。でも練習にはうってつけで自由に直進練習が可能。モデルマップに従い真面目に練習した。帰りのバスが14時の1本しかなく、車で来ていない我々はどうしても時間に制約が出来てしまう。元地学教師であるS氏の話では、この辺りの海岸はメノウが多いとのこと。良質のものは無いが、お土産に数個拾っておいた。



夕食は各自バラバラだったが、この夜だけ添乗員の提案にて、ツアー一行の自己紹介とTさんのスプリント3位入賞を祝賀して、ホテル近くのバイキングレストランでの食事が開催。ヨーコは食欲がなく不参加。

7月10日（火）（第6日目）

モデルイベントの隣接エリアにてフォレスト予選。但し、会場は海岸ではなく、南の湖側

の森。この日バスは道を間違えたのかArreso湖の西岸を北上。駐車場から約2 kmほど歩いて会場着。予選では過去のオリエン歴で最大の地図(52×28cm)に戸惑った。折りたたんでも手に収まらず、長いレグでは先のコントロールが見えない。ペナこそ免れたが結果は7個のミスで惨敗。昼食はゴール前のテントでサンドとパンを買った。夕食は中華のテイクアウトを買いに行った。前回来た時に商店街ストロイエの中にあったことを覚えていた。この日もヨーコは食欲なく、マックのバーガーも外食もヘビー。しかし中華はうまくて値段もリーズナブル。

7月11日(水) (第7日目)

同じ会場でミドルの決勝。昨日の反省で慎重に臨んだ。しかし、ゴール近くのエリアで他のポストに惑わされて小ミスを連発。大きな大会ではラスポ近くに多くのポストが集中していることを思い知った。この日も夕食は中華弁当。



7月12日(木) (第8日目)

ロングのモデルイベントがGribskovで開催。前にコペンハーゲンに来た時に、電車で郊外に出掛けたフレデリクスボー城の約5km北のエリア。近くに世界遺産があるとのこと。別に大きな建物がある訳でもなく、王室の狩猟場がある森林で、鹿狩のエリアだ。2つのエリアに分かれていてフレデリクスボー城の南東にあるもう一つも世界遺産に登録されている。モデルイベントはマイペースで回れるので楽で楽しい。ヨーコの体調も回復しそれなりに楽しんでいる。何ととってもこれまで全て完走。

7月13日(金) (第9日目)

いよいよ最終戦のロング決勝。モデルイベント会場より東の湖岸沿いGribskovで開催。トレインの森はやはりヨーロッパで日本とは景色が違う。この日も途中で大きなミスを



連発し、不本意な結果に終わった。



7月14日（土）（第10日目）

帰国出発の日、10時過ぎのバスの迎えまで時間があったので、徒歩で行けるスプリント会場のクリスチャンボー城へ行って見た。会場だった広場には青空市場のお店が広げられていた。



オリエンで走った宮殿の庭や建物を少し回ってみたが落ちついた庭園の木々が美しかった。こんな所でオリエンテーリングが出来たことに感謝する。FINエア―AY954便でヘルシンキ空港へ、AY73便に乗り継いで成田へ。

7月15日（日）（第11日目）

午前9時前に成田空港に到着。往きと逆ルートで東松戸経由JRにて帰宅。日本は猛暑であった。